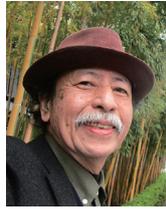


飯島一次 (いじま・かずつぐ)

大阪芸術大学 舞台芸術学科 1978年卒業



略歴

1953年、大阪府生まれ。
1996年、九州さが大衆文学賞佳作入選。
2006年、新風舎出版特別賞受賞。
文庫書下ろしを中心に時代小説を多数執筆。
日本歴史時代作家協会理事。日本映画ペンクラブ幹事。
日本推理作家協会、日本ペンクラブ、日本シャーロック・ホームズ・クラブ各会員。



講演会にて

江戸と映画にあこがれる時代小説家

高校時代から映画ばかり観ていて、受験勉強がおろそかになり、浪人。先行きが見えないときに、大阪芸術大学が舞台芸術学科を新設と知り、演劇も好きだったのですぐに受験し、一期生として合格しました。その時に教授をされていたのが有名な映画スターのフランキー堺先生で、『幕末太陽伝』の大ファンだった私は、好きな映画や演劇の勉強が学業となることに感激しました。

2015年には日刊ゲンダイに新聞小説を毎日連載し、これも文庫化されています。

執筆の傍ら、江戸講座の講師をしたり、落語家さんと対談したり、映画マニアなので映画館や試写室に通い、2019年からシネコラム「映画に溺れて」を続けております。



梅田コマ劇場に出演

入学一年目の終わりの春休み、先生が座長として主演された梅田コマ劇場の『雲の上団五郎一座』公演に一月間、舞台芸術学科の学生数名が選ばれ、忠臣蔵のパロディに端役として武士の扮装で出演させていただきました。今思えば、私が江戸を好きになるひとつのきっかけだったのでしょうか。

卒業後は上京。当時は劇作家を志しましたが、なかなかうまくはいかず、雑誌に投稿を始めたのが小説の書き始め。1980年代にいくつか引っ掛かり、初めて書いた時代小説の短編が九州さが大衆文学賞に佳作入選し、その後大きな文学賞の最終予選まで残りましたが、簡単には本が出せず、五十歳を過ぎてようやく作家デビュー。ちょうど各出版社で時代小説の文庫書下ろしが注目された時期で、いくつも注文をいただきました。



転倒事故の新聞記事

2022年に転倒事故で死に直面し、それがきっかけでペンネームを本名から「伊丹完」に改めました。そのいきさつは日刊ゲンダイに掲載されました。伊丹完名義で二見書房から『大江戸秘密指令』シリーズが六巻まで続いており、近々第七巻が出ますので、どうぞよろしく。



10月新刊『盗つ人長屋』



著書



新聞連載小説



参照 URL

歴史行路 シネコラム「映画に溺れて」

<http://rekishikouro.jp/reading/eiga-ni-oborete/>

推薦者／校友会事務局 松本晴名